

平和教育 小学校

戦争体験から学ぼう 沖縄戦から戦争について考える



小学校・中学校・高校
社会・総合
NHKスペシャル
沖縄 よみがえる戦場

52分

小学校高学年で太平洋戦争を学び、地域によっては平和学習を行ったり、修学旅行で平和学習に取り組んだりする学校も少なくありません。その学習に活用できるのがこの番組『NHKスペシャル 沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～』。戦争体験から、戦争の悲惨さだけでなく、当時の社会の様子や人々の暮らしに興味・関心をもち、新たな課題をもつことで、それ以降の学習につなげることができます。

番組活用のポイント

戦争体験を学習に生かそう！

社会や平和学習で、「戦争を体験された方のお話を聞いてみたい」と望まれる先生方は少なくありません。しかし、体験者をお招きしたり最寄の施設に行ったりするのは大変なことです。また近年は戦争体験者の高齢化が進み、体験者自体が減っている現状もあります。

そこで今回紹介する『NHKスペシャル 沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～』を活用されてみてはいかがでしょうか。



沖縄県北中城村立北中城小学校

教諭 甲斐 崇

住民の視点で語る沖縄戦

この番組は、沖縄県読谷村から始まった沖縄本島における日本軍と米軍との地上戦の様子、住民の集団自決の様子が住民の視点で描かれているものです。体験者の証言や記録から、教科書であまり知ることのできない戦争の様子や、その当時の沖縄の状況、そして住民がどのようにして戦争に巻き込まれていき、犠牲となっていったのか、さらに戦争が人々に与える影響を考えることができる内容になっています。

体験から自分の学習へ

戦争を体験した方のお話を聞くことにより、子どもたちは様々なことを考えます。今回提案する授業では体験をもとに、当時の社会の様子や人々の暮らし、また戦争について感じた疑問や学習課題をもたせることで、戦争や平和に関する興味・関心を一層深め、それ以降の学習につなげるねらいがあります。なお、今回は同じ番組を活用し、本稿では1校時の授業を、次のページでは総合単元としての授業での活用方法を示しています。



戦争体験を語る知花さん



沖縄本島に上陸するアメリカ軍

平和教育

学習展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入	1. 戦争のことについて知っていることを話し合う。	・戦争全般について知っていることだけでなく、身近なところで戦争に関わった方や、地域のことについて聞き出す。
展開	2. 番組「沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～」を視聴する。 視聴 必要であればノートにメモを取りながら視聴する。 3. 視聴後、感想や疑問などをノートに書く。 4. 番組を見ての感想や疑問を発表し、意見を交流する。	・番組を見る前に番組を見る上でのポイントを確認する。 例) 戦争がどのように進んだのか当時の人々はどのように暮らしをしていたのか、…など。 ・視聴は全てではなく20分程度にとどめる。(19分18秒まで) ・ただ感想だけで終わらせず、疑問に思ったことやどうしてだろう?と感じたことを書かせるようにする。 ・発表したことを板書していき、似たような発言から意見をつなぎ、戦争のこと、くらしの様子などについてまとめていく。
まとめ	5. 学習課題を設定する。 例) なぜ戦争は起きたのだろう。なぜ沖縄の住民が戦争にまきこまれたのだろう。	・板書をもとに意見を集約し、これからの学習課題を設定していく。



亡くなった知花さんの息子の写真



チビチリガマ
集団自決が起きたチビチリガマ



「その中の2人がけがしたもんだからもうそんな時は誰も動かん。じっとしていたね」
(知花カマドさん 当時26歳)
集団自決の様子を証言する様子



孫に戦争体験を語る知花さん

より効果的に番組を活用するために

事前学習で番組をより有効に活用できます！

本時の実践は1校時扱いですが、事前にあらかじめ戦争について知りたいことを書き出しておく番組を視聴する際のポイントになります。また時間に余裕があれば、授業を2校時扱いにして番組を全て視聴した上で、体験者の当時の立場や、戦争を体験した人々の当時の年齢が自分たちの年齢と変わらない子どもたちであったことを考えさせることで、戦争や当時のくらしぶりについての学習課題がより明確になります。

道徳など他の教科の教材にも活用できます！

今回活用した番組は、取り上げ方によっては他の教科にも活用できます。たとえば、体験者自身の発言や行動に着目することで、人間としての生き方や生命尊重などについて考えることができ、平和学習のみならず、道徳の教材としても活用することが可能になります。

平和教育 小学校

戦争や平和について考え、 自分の思いを発信しよう！



小学校・中学校・高校
国語・社会
NHKスペシャル
沖縄 よみがえる戦場

52分

『教材』などを通して「読む」学習後に、「書く」作業を行う国語の総合単元的な教材の単元構成では、題材設定や必然性、伝えたいという目的・相手意識が大切です。その学習に活用できる番組が『NHKスペシャル 沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～』。社会や平和学習で学習する沖縄戦や太平洋戦争についての学習を教材・題材にして、自分の考えを発信する活動を展開できます。

番組活用のポイント

戦争体験を学習に生かそう！

社会や平和学習で、「戦争を体験された方のお話を聞いてみたい」と望まれる先生方は少なくありません。しかし、体験者をお招きしたり最寄の施設に行ったりするのは大変なことです。また近年は戦争体験者の高齢化が進み、体験者自体が減っている現状もあります。

そこで今回紹介する『NHKスペシャル 沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～』を活用されてみてはいかがでしょうか。



沖縄県北中城村立北中城小学校

教諭 甲斐 崇

住民の視点で語る沖縄戦

この番組は、沖縄県読谷村から始まった沖縄本島における日本軍と米軍との地上戦の様子、住民の集団自決の様子が住民の視点で描かれているものです。体験者の証言や記録から、教科書であまり知ることのできない戦争の様子や、その当時の沖縄の状況、そして住民がどのようにして戦争に巻き込まれていき、犠牲となっていったのか、さらに戦争が人々に与える影響を考えることができる内容になっています。

体験や学習から戦争や平和について考えたことを発信しよう！

番組を活用して、戦争体験や戦争についての知識やイメージを補い、問題提起の材料として活用します。戦争の学習を進めていく中で、番組を発信のための一つの材料として活用することで、戦時中の人々のくらしや悲惨な戦争に巻き込まれた人々の思いや苦しみを知り、考えることができます。学習展開例では社会での太平洋戦争の学習とあわせて、これらの多様な材料を通じて自分の考えを組み立て、発信する方法を示しています。



知花カマドさん(86歳)

戦争体験を語る知花さん




チビチリガマ

集団自決が起きたチビチリガマ

学習展開例

平和教育

	学習活動	指導上の留意点
一次	<ul style="list-style-type: none"> 番組「沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～」を視聴し、戦争や平和についての学習課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 番組を発信にむけての最初の問題提起として活用したい。 感想や疑問などを交流して学習課題を設定させたい。
二次	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題をもとに、学習をスタートする。 学習課題にもとづいて調べてみたい内容について調べる。 社会科でも太平洋戦争の学習を行い、戦争の背景、過程、人々の暮らし様子について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題をもとに子どもたちが戦争や平和について知りたい内容を調べていきながら、社会科でも太平洋戦争の学習を進め、知識を補い、考えを深めさせたい。 調べ学習の中で、必要であれば番組を再度活用させたい。
三次	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことや太平洋戦争の学習などから自分の考えを組み立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発信する目的、相手などを明確にした上で、発信方法についても考えさせたい。
四次	<ul style="list-style-type: none"> 組み立てた考えをもとに文章化し、発信方法に応じて発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章化した上で、新聞、ホームページ、スピーチなど発信方法に応じたまとめを行う。
五次	<ul style="list-style-type: none"> 発信した内容に対して意見や感想を交流し、手直しを行い、さらに自分の考えを深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が発信したことがどの程度相手に伝わったかを確認して、必要があれば手直しを行い、再度発信する。



ガマから出てくる住民の様子



宮城トミ子さん(当時2歳)避難の様子を語る宮城さん



戦争体験を語る仲本さん



戦争体験を語る仲村渠さん

より効果的に番組を活用するために

番組を授業の導入としてだけ見せるのはもったいない!

番組をスタートとした学習を紹介しましたが、ある程度戦争や平和について知識をもち、自分の考えが深まりつつある段階で見せることで、さらに深い内容理解が期待できます。また、導入でなく授業(単元)の途中で、知識を補足するために見せたり、まとめの段階でこれまでの学習をふりかえるために見せたりと、学習の目的に応じて活用の仕方を変えることができます。

他の番組でも同様の学習ができます!

地域によっては沖縄戦関連の映像だけでは子どもたちのニーズや実情に沿わないことや、戦争や平和について考える材料や調べ学習の資料として他の教材の必要性が出てくる場合もあります。そこで平和アーカイブスの広島・長崎の原爆の番組を追加資料として取り上げたり、題材自体を原爆に変えても同様の学習を行うことができます。